

「歯科におけるX線撮影は何のため？」

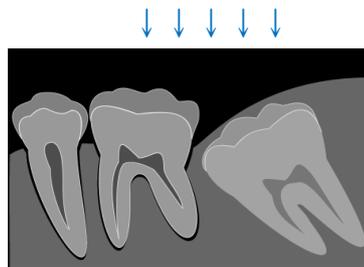


～デンタルX線写真編～

歯科では、X線写真を撮影する機会が多くあります。何のために撮影しているのかご存じですか？
歯科で撮影するX線写真はその撮影方法によって、何種類もあり、それぞれ特性があります。今回は
治療の際に撮影される頻度が多い、デンタルX線写真について解説します。

デンタルX線写真とはどのようなもの？

デンタルX線写真は3cm×4cm程度の大きさのフィルムを口の中に入れて撮影します。
3～4歯を撮影対象とするため、撮影範囲は狭いですが、パノラマX線写真と比較してより詳細な
情報が得られます。



デンタルX線写真からわかること

☆虫歯の状態の確認

＜歯と歯の間にできていて口の中を見ただけでは確認困難なむし歯の発見や、パノラマX線写真での写りが不明瞭な場合に役立ちます。＞

☆根尖病巣（歯の根の先の炎症）の状況確認や根管治療（歯の根の治療）後の確認・経過観察

☆補綴物（被せ物）・修復物（詰め物）が適合（ぴったりフィット）しているかの確認

☆歯周病の状態の確認

＜歯石の付着状況、歯槽骨の状態、歯根の分岐部病変（歯の根の分かれている部分の病変）等＞

☆インプラント周囲の骨の状態の確認

など



デンタルX線写真撮影は、パノラマX線写真撮影より、更に被ばく量が少ないため安全ですが、妊娠している方、妊娠の可能性のある方は歯科医と撮影方法や撮影時期を相談しましょう。

